

# 第3部

**【グループワーク：KJ法】**

**テーマ：熱中症対策推進に向け、取り組むべき事項の具体化**

# KJ法

KJ は・・・

文化人類学者

川喜田 二郎 博士 の

イニシヤル

KJ法とは・・・

文化人類学のフィールドワークで

「膨大なデータを整理して

問題解決の糸口を探る」

ために考案された手法



1920年  
～2009年



# 「具体的な手順」

①カード1枚にひとつずつ、テーマについての「**自分の意見**」を**キーワード**で記入する。

②カードの中から似たような（**志を同じくする**）カードを**グループ化**する（=**島**を作る）。

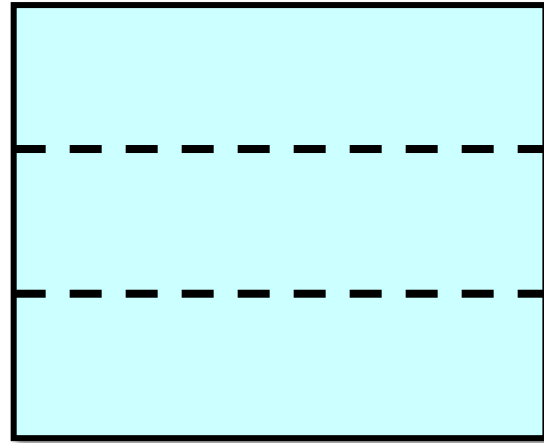
③島にふさわしい**表題**（**表札**）をつける

④表札を**二次元展開**する。

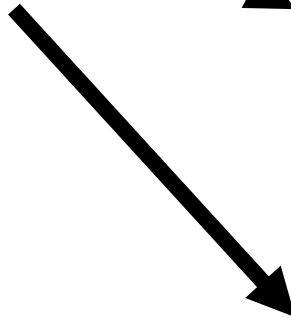
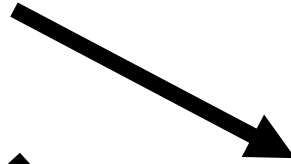
# ① 「意見を出す」 (文殊カード)

**文殊カード** を使って意見を出し合う

今回は  
ポストイットを  
使います

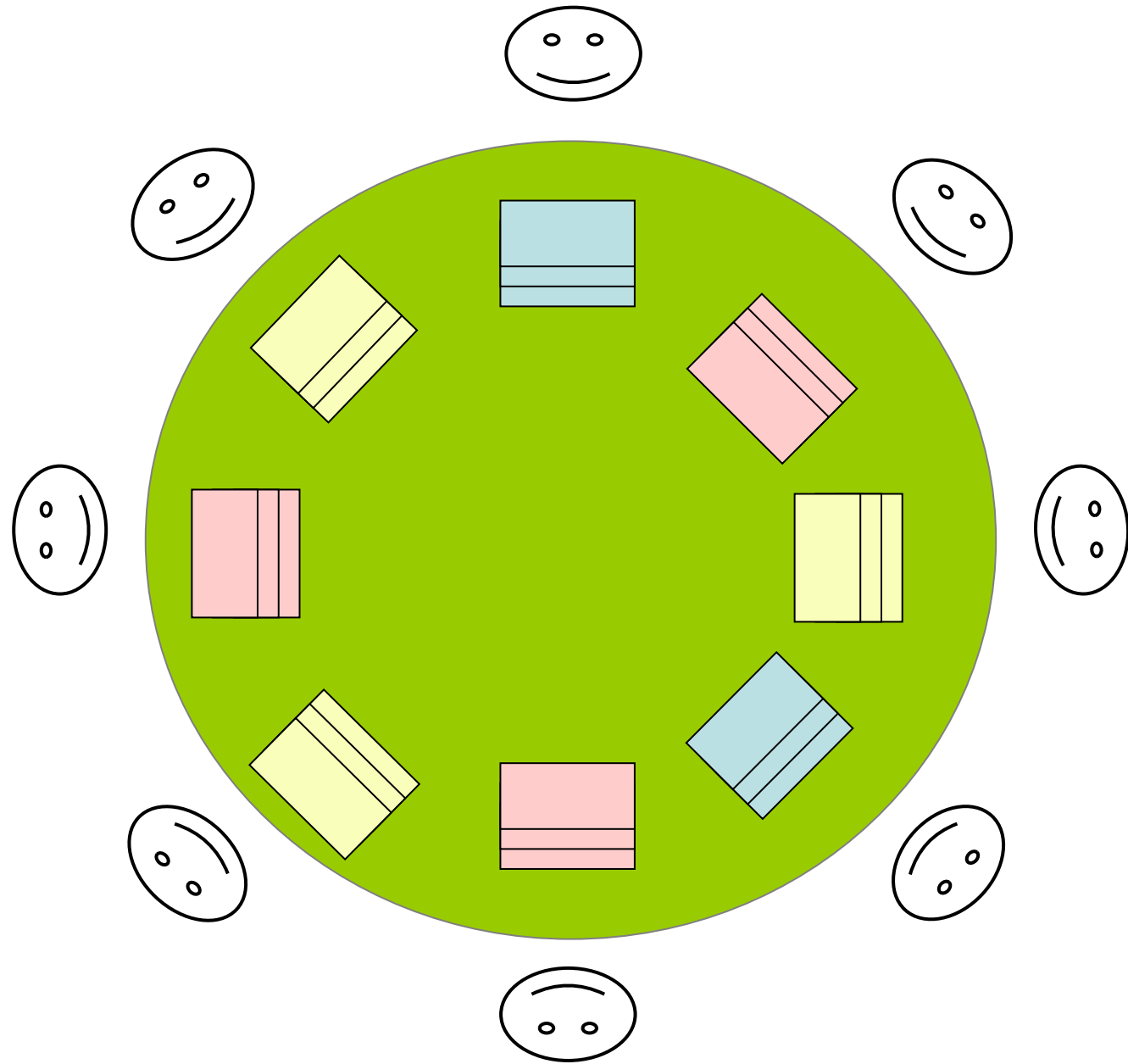


ミシン目で3つに  
切り離せるカード



1926年～1997年

中川 米造 氏 (文殊カード考案)



# ① 「意見を出す」 (文殊カード)

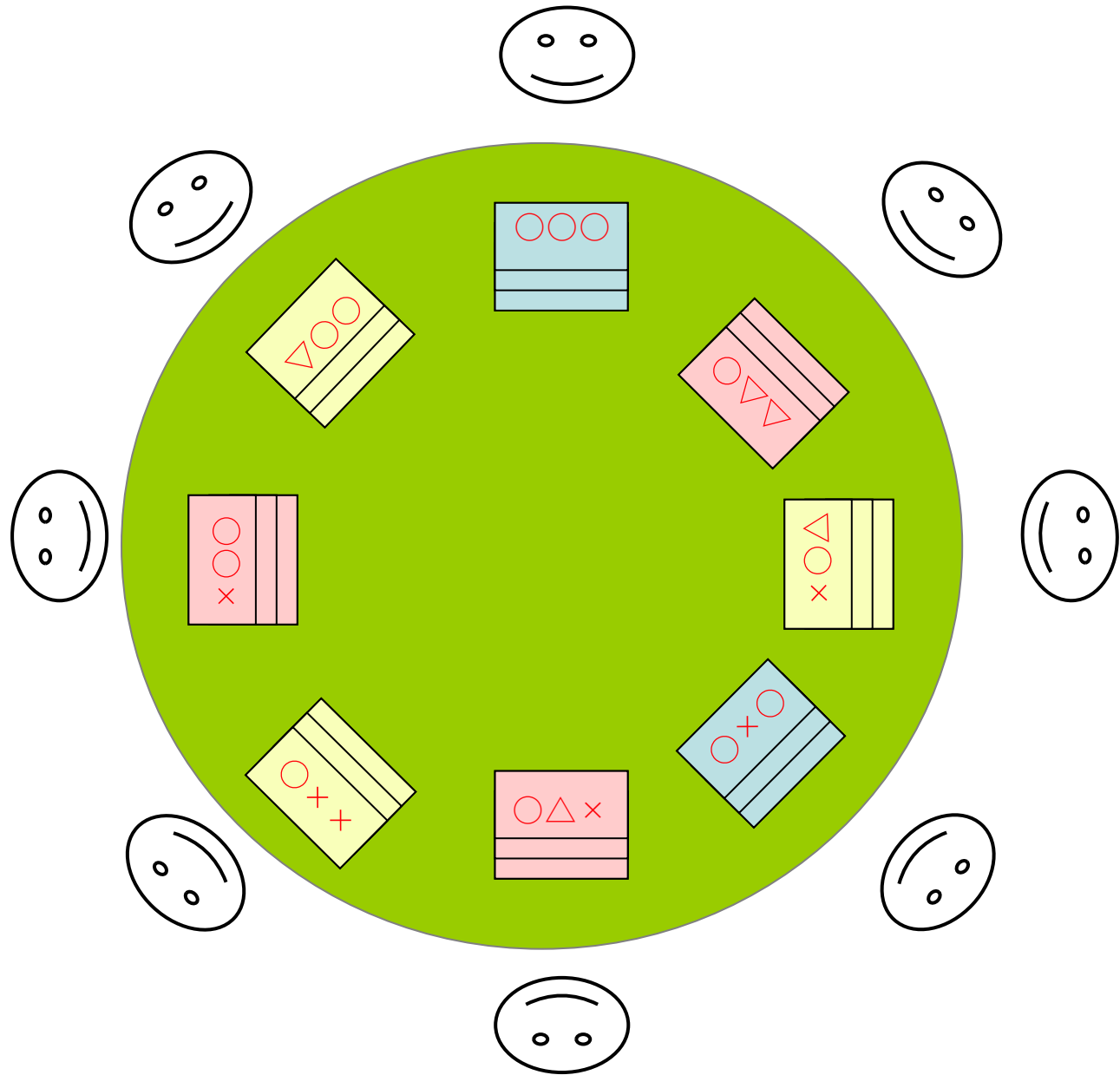
各自1枚の文殊カードを持ち設定されたテーマについて思いついたことを1段目に記入

例) 小学生の好きな食べ物は

フェルトペンで記入

ハンバーガー

隣へ



## ① 「意見を出す」 (文殊カード)

隣から回ってきたカードの2段目に各自思い  
ついたことを記入する

例) 小学生の好きな食べ物は

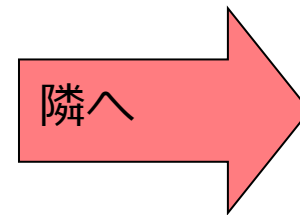
A diagram illustrating the KJ method. On the left, a red arrow points right towards a light blue rectangular card. The arrow contains the text "隣から" (From the neighbor). The card is divided into three horizontal sections by two dashed lines. The top section contains the text "チョコレート" (Chocolate). The middle section contains the text "カレーライス" (Curry rice). The bottom section is empty.

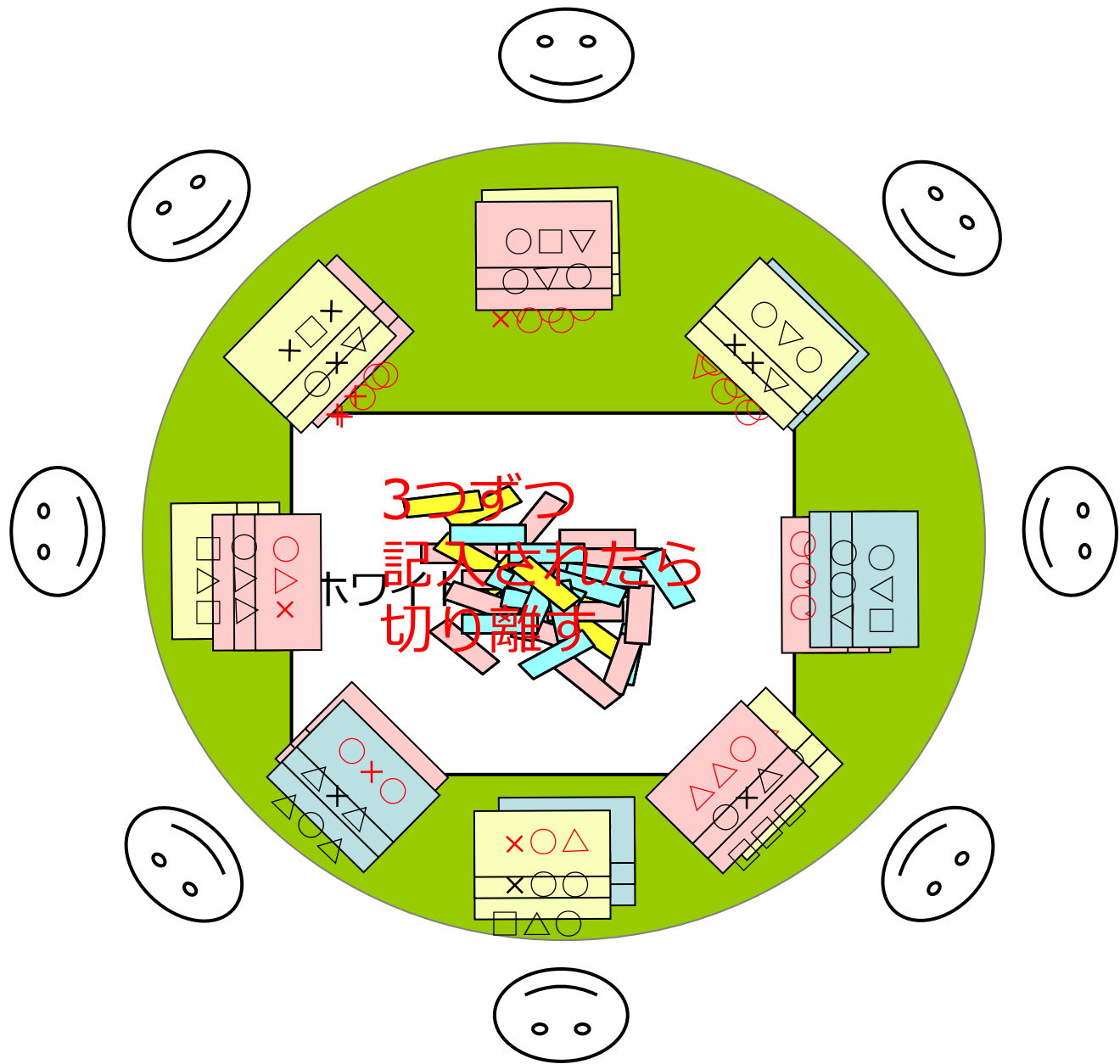
## ① 「意見を出す」 (文殊カード)

3段目が未記入なカードを隣のメンバーにわたす

例) 小学生の好きな食べ物は

チョコレート
カレーライス





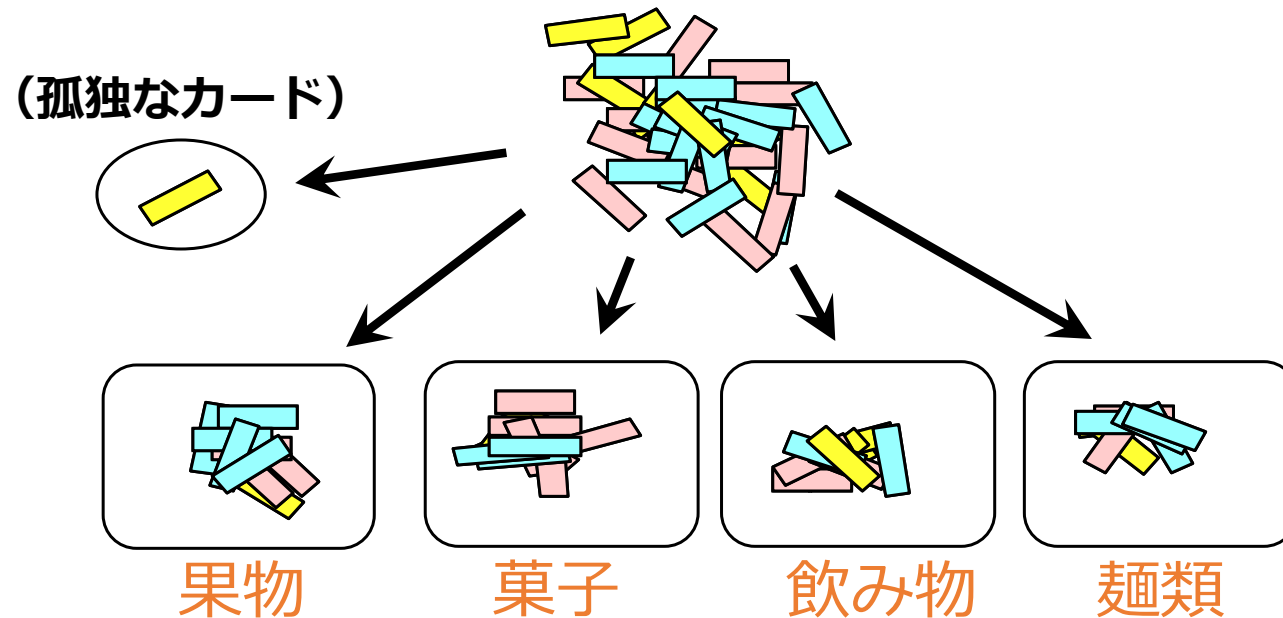
KJ法

## ② 「島分けする」 (文殊カード)

KJ法

## ③ 「表札をつける」 (文殊カード)

「志」を同じくするカード同士を集めて、島を作る  
まとまったカード群（島）を適切に表現できるタイ  
トル（表札）をつける。



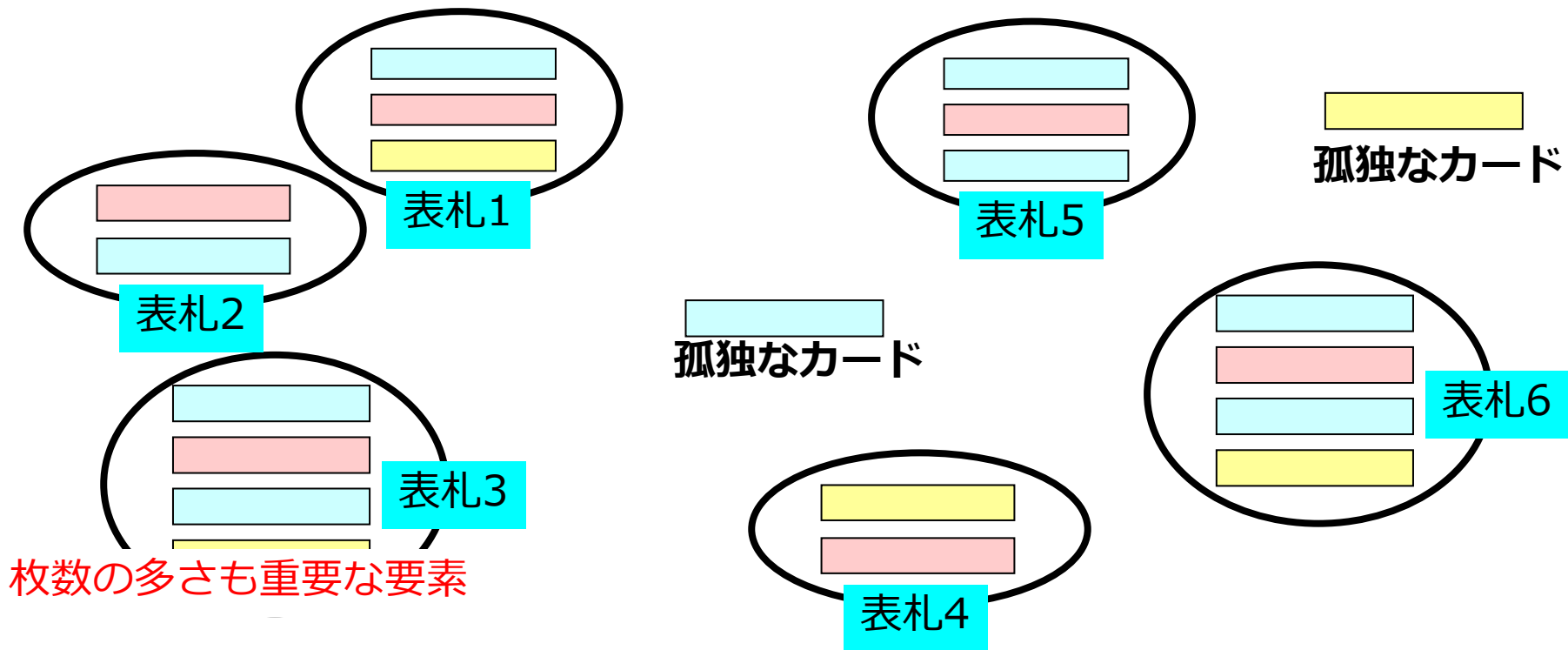
KJ法

## ② 「島分けする」 (文殊カード)

KJ法

## ③ 「表札をつける」 (文殊カード)

表札のついた島を模造紙の上に相互関係を考慮しながら空間配置し、貼り付ける



### ③ 「表札をつける」

テーマ「小学生の好きな食べ物は？」

果物

りんご

みかん

もも

お菓子

キャラメルチョコ

ガム

チョコレート

ポテトチップス

カレーライス

うどん

そば

どらやき

ご飯もの

KJ法

### ③ 「表札をつける」

テーマ「小学生の好きな食べ物は？」

赤い色

りんご

カラムーチョ

黄色

ポテトチップス

みかん

ガム

カレーライス

もも

チョコレート

うどん

まるい

おまけつき

どらやき

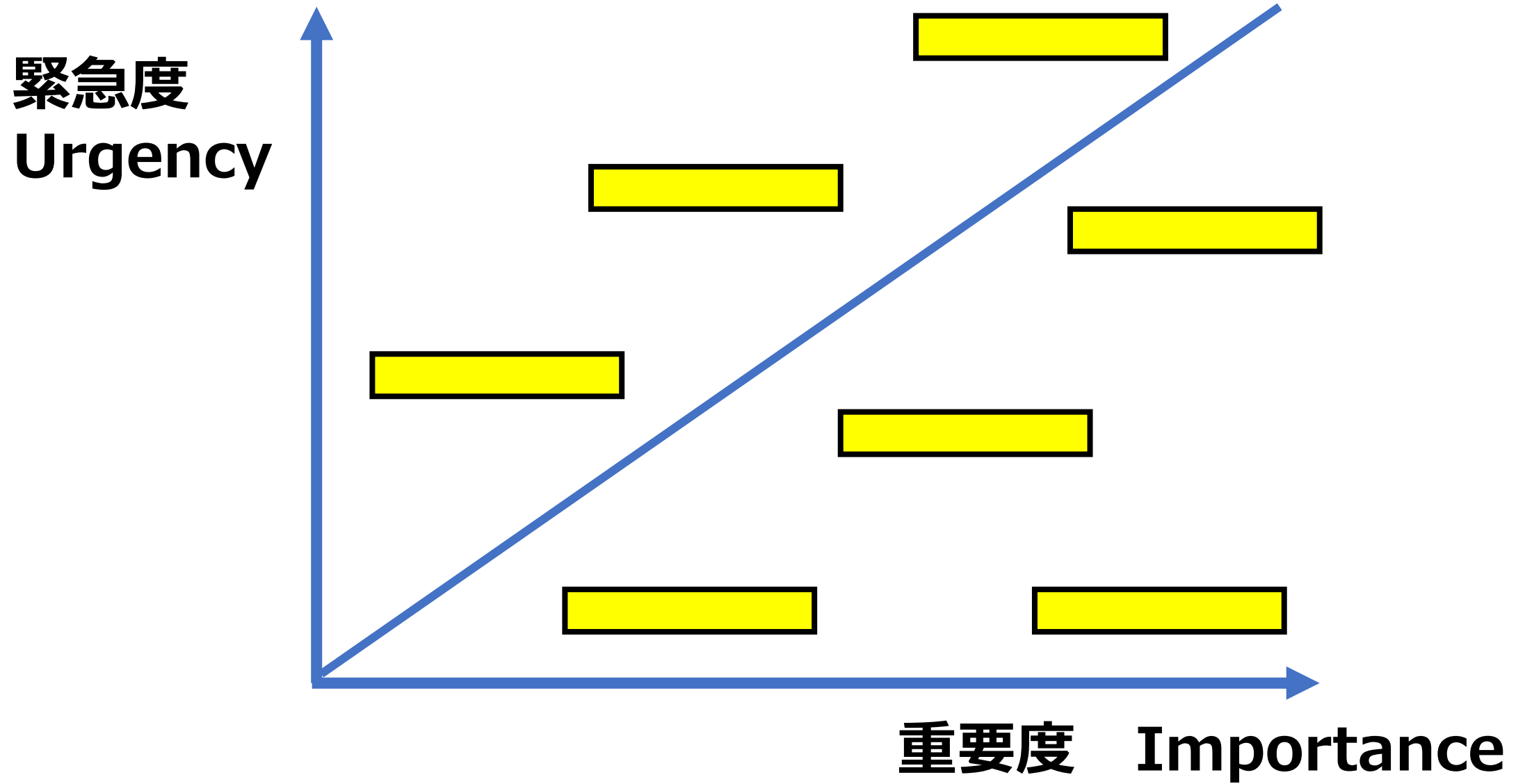
立ち食い

そば

既成概念にとらわれず、カードのキーワードを見て想起される表札も！

KJ法

# 表札を二次元展開する



# ④までを1時間で行います

- ① 自己紹介：アイスブレイク
- ② KJ法
- ③ 二次元展開
- ④ 議論して発表時間までにFix  
(発表者を決めておいてください)

**目標** 中期的な目標（2030年）として、**熱中症による死亡者数が、現状（※）から半減**することを旨とする。（※5年移動平均死亡者数を使用、令和4年（概数）における5年移動平均は1,295名）

**計画期間** おおむね5年間

**推進体制** 熱中症対策推進会議（議長：環境大臣、構成員：関係府省庁の局長級）において、計画の実施状況確認・検証・改善、及び新たな施策を検討するとともに、極端な高温の発生時の政府一体的な体制を構築する。

### 関係者の基本的役割

**国**：集中的かつ計画的な熱中症対策の推進、関係府省庁間及び地方公共団体等との連携強化、熱中症と予防行動に関する理解の醸成

**地方公共団体**：庁内体制を整備しつつ、主体的な熱中症対策を推進

**事業者**：消費者等の熱中症予防につながる事業活動の実施、労働者の熱中症対策

**国民**：自発的な熱中症予防行動や、周囲への呼びかけ、相互の助け合いの実施

### 熱中症対策の具体的な施策

#### 1. 命と健康を守るための普及啓発及び情報提供

- 熱中症予防強化キャンペーンの実施
- シーズン前のエアコン点検・試運転の普及啓発
- 電力需給ひっ迫時等においても、節電にも配慮したエアコンの適切な使用の呼びかけ
- 熱中症警戒情報を発表し、各種ルート、ツールを通じて、国民に広く届け、熱中症予防行動を促す
- 救急搬送人員の取りまとめ、公表

#### 2. 高齢者、子ども等の熱中症弱者のための熱中症対策

- 熱中症対策普及団体や、福祉等関係団体、孤独・孤立対策に取り組む関係団体等を通じた見守り・声かけ強化
- エアコン利用の有効性の周知

#### 3. 管理者がいる場等における熱中症対策

- 【学 校】○危機管理マニュアル等に基づく対応の実施  
○教室等へのエアコン設置支援
- 【職 場】○暑さ指数を活用した熱中症予防実施
- 【スポーツ】○スポーツ施設のエアコン設置支援

【災害発生時】○エアコン未設置の避難所への迅速なエアコンや非常用電源の供給支援  
【農作業】○農作業安全確認運動を通じた普及啓発

#### 4. 地方公共団体及び地域の関係主体における熱中症対策

- 地方公共団体における体制整備
- 指定暑熱避難施設の指定や暑熱から避けるためエアコンのある施設や場の確保
- 指定暑熱避難施設の確保時における再エネや蓄電池等の活用
- 熱中症対策普及団体の指定等、民間の力を活用した熱中症弱者の見守り・声かけ強化
- 地方公共団体向けの研修会等の実施

#### 5. 産業界との連携

- 消費者等への普及啓発、商品開発への協力依頼

#### 6. 熱中症対策の調査研究の推進

- 高温等に関する情報の提供に向けて、予測技術等の改善

### 極端な高温発生時の対応

#### 7. 極端な高温の発生への備え

- 地方公共団体内での関係部局間及び対応すべき関係機関の役割の明確化や連携、指定暑熱避難施設の確保や運営等に関する事前の準備を含め、体制整備が進むよう、日頃からの見守り・声かけ体制の活用や災害対策の知見・経験の共有等を通じ、支援
- 熱中症特別警戒情報に関する指針や体制の整備
- 熱中症特別警戒情報の在り方について、救急搬送に関する情報等の活用も含め検討
- 熱中症弱者の特定、所在把握、安否確認、避難誘導や、屋外活動の抑制等、見守り・声かけ体制や災害対策の仕組み等を参考に検討

#### 8. 熱中症特別警戒情報の発表・周知と迅速な対策の実施

- 熱中症特別警戒情報を広く国民に届け、予防行動を呼びかける
- 指定暑熱避難施設の開放・適切な運用の確認
- 地方公共団体における対策の迅速な実施への協力

### 実行計画の実施と見直し

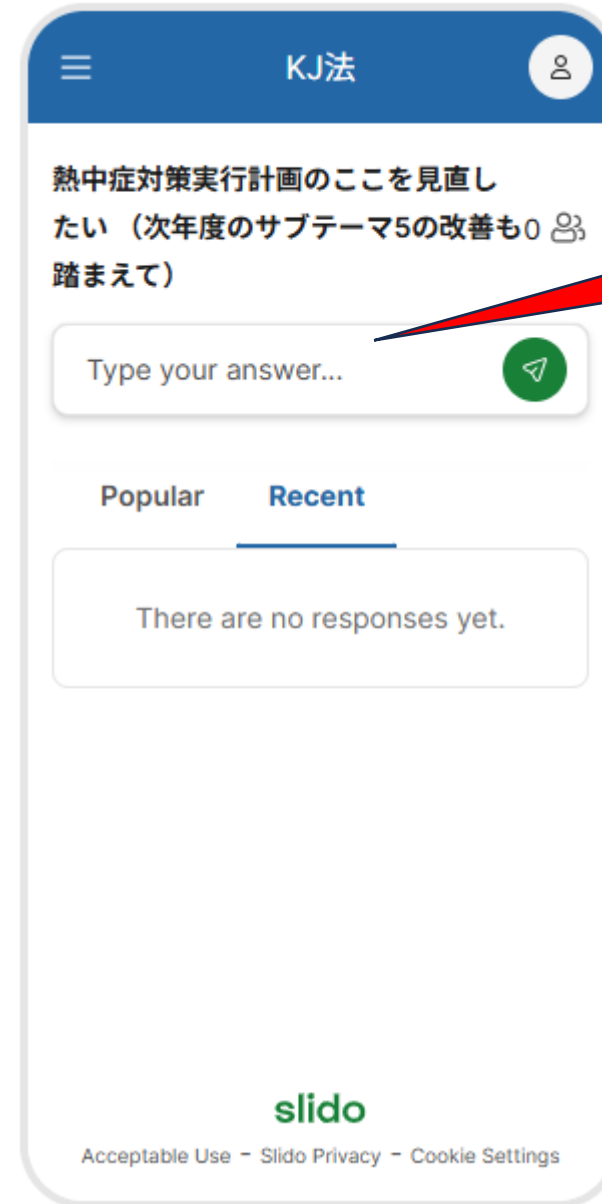
○実行計画は、気候変動の状況、熱中症の今後の推移や国民世論の動向等を見据え、**更なる対策の追加や強化について引き続き検討**。極端な高温発生時の推進体制も検討結果に応じ見直し。

# お題： 熱中症対策実行計画の ここを見直したい

# WEBでのご参加の皆さまは みんなでKJ法

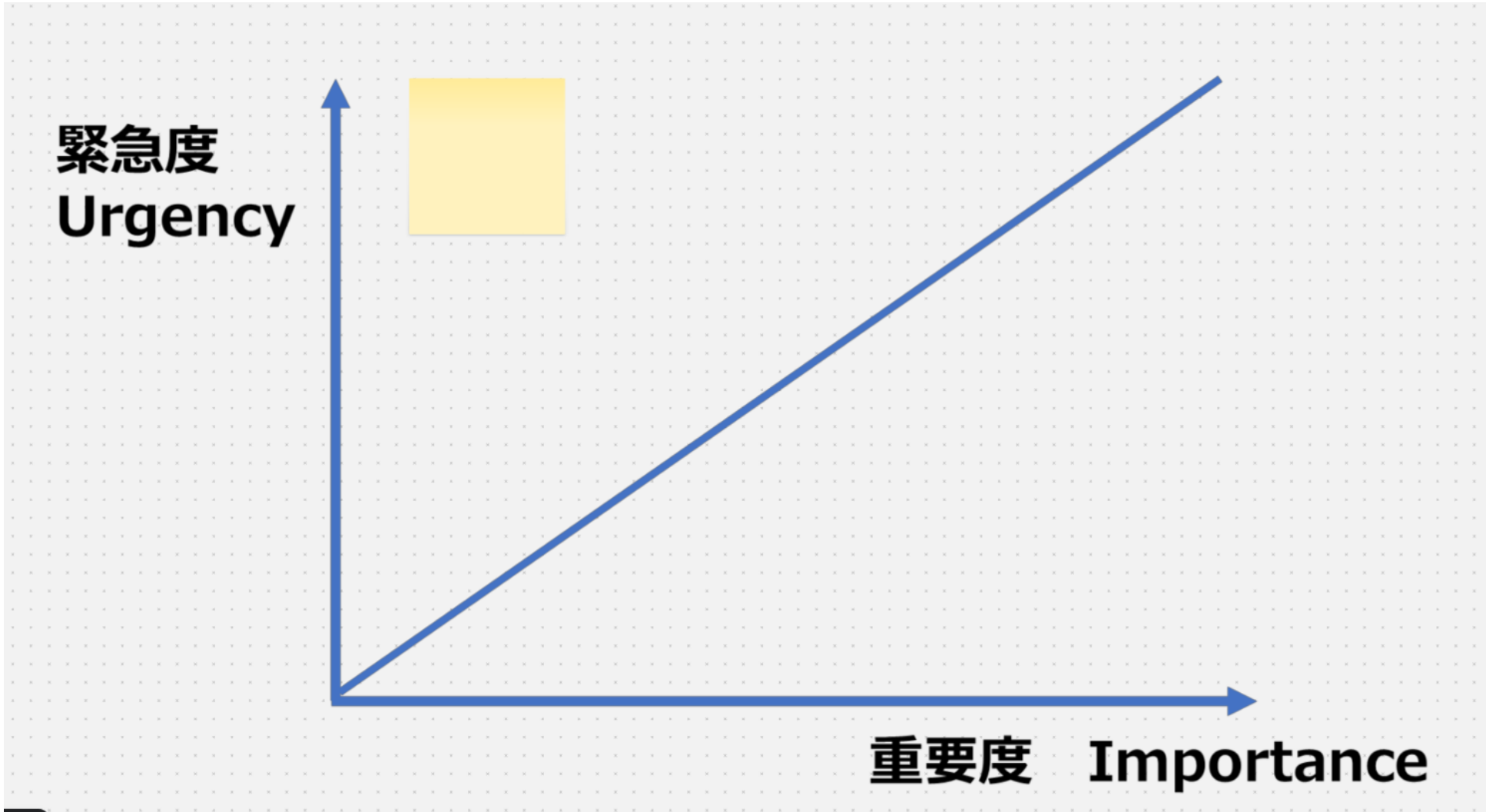


<https://app.sli.do/event/71MAjGhB28kuG1Pm98Wk7K>



ここに入力  
ください

[KJ法](#)



[https://zoom.us/jb/doc/Efkqk6r1SXGzFF4\\_YcUwsw/p/21682317033472](https://zoom.us/jb/doc/Efkqk6r1SXGzFF4_YcUwsw/p/21682317033472)